

1	事業名称	チャレンジスキー in INARI			
2	新規・継続	継続	3年目		
3	趣旨	スキー初心者を対象とした子どもスキー教室を開催して、スキーの正しい滑り方や安全な行動を学びながら、楽しく滑れるようにするとともに、信州高遠青少年自然の家での宿泊体験を通して、親子でウィンタースポーツを楽しみ、冬の自然に親しむ機会を提供する。			
4	期日・期間	平成27年1月17日(土)～18日(日)			
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家			
6	募集人数	100人			
7	共催・協力・後援	なし			
8	参加者人数	93人			
9	参加者類型	累計	男	女	計
		小学生未満	8	9	17
		小学生	19	18	37
		中学生	2	3	5
		大人	20	26	46
10	参加者地域	愛知県、長野県、山梨県、東京都、神奈川県			
11	参加者分析	参加者を中京方面の初心者対象に絞り募集した結果、ねらい通りの応募となった。ただし、全体として131名の応募があり、抽選によって参加者を115名にしたにもかかわらず、結果として直前のキャンセルが多く、募集定員を割ってしまったことは残念である。			
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
		83.4%	16.6%	0.0%	0.0%
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> ・お陰様でスキーになれることができました。他の家族の方とも交流でき、よい時間を過ごせました。ありがとうございました。 ・各担当者のアイデアがあって実施しており、よかったです。 ・星の観測を楽しみにしていましたが、残念でした。来年はぜひ見たいです。 ・来年も是非参加したいです(複数あり) ・スタッフの方々が優しく笑顔で接してくださいましたこと、とても気持ちよく、嬉しかったです。 			
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のスキー場と連携して、子どもに冬の野外スポーツ活動に親しむきっかけをつくることができた。 ・冬季に利用者が少ない当施設にとって、冬の活動が手軽に体験できるという良さをアピールすることができた。 ・スキーのみならず、星空観察などの自然体験や親子レクでの家族同士の交流活動が参加者には好評であり、有意義な家族間交流となった。 			
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の安全管理への対策(怪我、感染症など) ・参加者へのスムーズな受付方法の検討。 ・悪天時のために、代替活動案を考えておく。 			
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・無線機でスタッフ間の連絡を密にとることで、参加者に対して柔軟に対応することができた。各班にボランティアスタッフと職員を補助につけたことで、安全に楽しく活動できたと感じる。 			

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	担当（講師等）
1月17日（土）		
9:00	受付	国立信州高遠青少年自然の家職員
9:30	開校式	国立信州高遠青少年自然の家職員
10:00～12:00	スキースクール	INARIスキースクール指導員
12:00～13:00	昼食	
13:00～15:00	スキースクール	INARIスキースクール指導員
15:20	閉校式	国立信州高遠青少年自然の家職員
17:00	ガイダンス・会計	国立信州高遠青少年自然の家職員
18:00～19:00	夕食	
19:00～	星座観察会	国立信州高遠青少年自然の家職員
19:45～	親子レクリエーション	国立信州高遠青少年自然の家職員
20:30～21:30	入浴	
1月18日（日）		
7:00～7:20	朝の集い	国立信州高遠青少年自然の家職員
7:20～8:00	朝食	
8:00～8:40	清掃・荷物整理	国立信州高遠青少年自然の家職員
9:50	伊那スキーリゾート着・解散	

17



開校式で指導者に挨拶します



準備体操，背を伸ばして！



まずは，板の履き方から。



まっすぐ滑れるかな？



片足スキーで板に慣れます



足を「さんかくにひらいて！」



「曲がれるようになったよ！」



朝のつといで、「ラジオ体操第一♪」



職員が冬の代表的な星座の説明と、天体ドームで300mm反射型望遠鏡の説明



「親子レクリエーション」プレイホールでゲームをしながら、楽しく交流することができました。

